

ブロックN

※令和8年度～空き校舎



指定緊急避難場所兼指定避難所

○船形小学校

昭和58年建築
経過42年(法定耐用年数47年)
耐震：新基準

○那古小学校

船形小学校と統合し引き続き学校として利用



指定緊急避難場所兼指定避難所

○那古公民館 利用418件 11サークル

昭和50年建築 稼働率14% 町27回
経過50年(法定耐用年数24年)
健全度：55 経過年数からすると高め
施設個別計画の方向性
⇒学校再編に併せて機能移転



指定避難所

「地元で自主運営」

※令和13年度～空き校舎

○第一中学校

昭和50年建築
経過50年(法定耐用年数47年)
耐震：平成14年改修



指定緊急避難場所兼指定避難所

「複合施設として、部分的に公民館利用」

※空き教室利用の可能性も含め検討

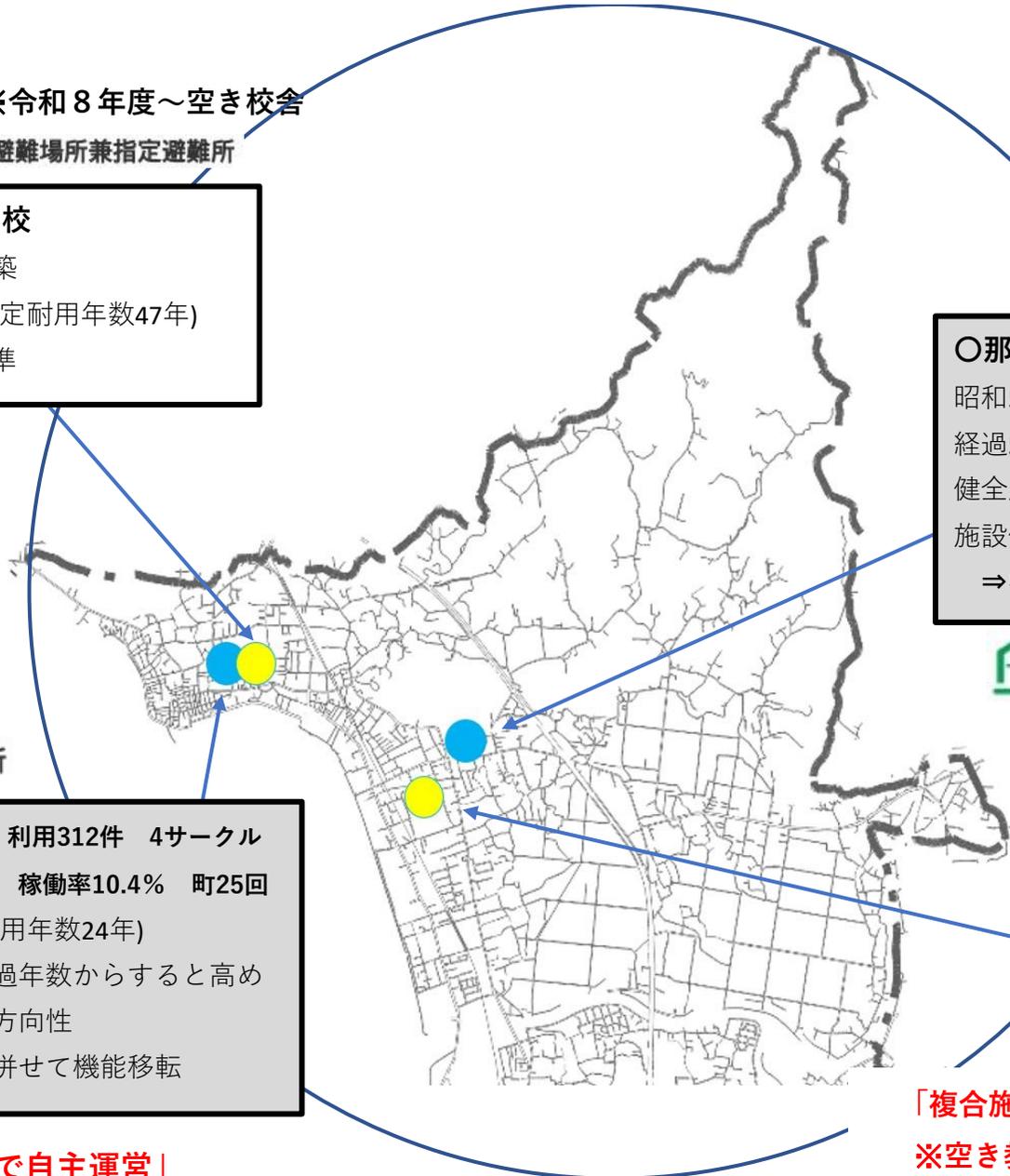


指定避難所

○船形公民館 利用312件 4サークル

昭和48年建築 稼働率10.4% 町25回
経過52年(法定耐用年数24年)
健全度：60 経過年数からすると高め
施設個別計画の方向性
⇒学校再編に併せて機能移転

「地元で自主運営」



ブロックH

○菜の花ホール 利用2,478件 58サークル
平成6年建築 稼働率27.6% 町30回
経過30年(法定耐用年数47年)
健全度：75
施設個別計画の方向性
⇒比較的良好な状態
引き続き現施設の運営を目指す。

「引き続き現施設を運営」



○館野公民館 利用583件 14サークル
昭和51年建築 稼働率19.5% 町13回
経過48年(法定耐用年数24年)
健全度：47
施設個別計画の方向性
⇒学校再編に併せて機能移転

「地元で自主運営」



指定緊急避難場所兼指定避難所

○館野小学校
昭和54年建築
経過46年(法定耐用年数47年)
耐震：平成25年耐震改修

ブロックT



指定緊急避難場所兼指定避難所

○豊津ホール 利用583件 14サークル
昭和59年建築 稼働率9.9% 町31回
経過41年(法定耐用年数47年)
健全度：75
施設個別計画の方向性
⇒赤山地下壕受付も兼ねる。
現施設を維持していく。

「現施設を維持・集約」



指定避難所

○館山公民館 利用732件 15サークル
昭和49年建築 稼働率24.5% 町13回
経過50年(法定耐用年数24年)
健全度：47
施設個別計画の方向性
⇒老朽化、大規模な修繕が必要
学校再編に併せて機能移転

「地元で自主運営or閉鎖」

ブロックS

※令和10年度以降～空き校舎
房南中移転後に房南学園に移転
—館山市小中学校再編計画より—

 指定緊急避難場所兼指定避難所

○房南こども園

昭和45年建築
経過45年(法定耐用年数47年)
耐震：新基準
平成20年度こども園化改修
健全度：82

「複合施設として、部分的に公民館利用」

 指定緊急避難場所兼指定避難所

○富崎公民館 利用168件 4サークル
昭和50年建築 稼働率5.6% 町33回
経過49年(法定耐用年数24年)
健全度：53
個別計画：当面の間は現施設の維持保全

「地元で自主運営」

 指定緊急避難場所兼指定避難所

○房南学園

平成29年建築
経過8年(法定耐用年数47年)
耐震：新基準

「小規模特認校・こども園として存置」

 指定避難所

○神戸公民館 利用218件 17サークル
昭和50年建築 稼働率7.3% 町23回
経過50年(法定耐用年数24年)
健全度：55
個別計画：当面の間は現施設の維持保全

「地元で自主運営」

ブロックW

※令和9年度～空き校舎

 指定緊急避難場所兼指定避難所

○西岬小学校

昭和55年建築
経過45年(法定耐用年数41年)
耐震：平成25年耐震改修

「国有地借用により閉校後返還」

 指定避難所

 指定緊急避難場所兼指定避難所

○西岬公民館 利用450件 9サークル
昭和53年建築 稼働率11.3% 町18回
経過47年(法定耐用年数50年)
健全度：51
施設個別計画の方向性
⇒学校再編に併せて機能移転

「現在地で建替」

 指定緊急避難場所兼指定避難所

○西岬公民館分館 利用84件 2サークル

昭和59年建築 稼働率2.1% 町5回
経過40年(法定耐用年数24年)
健全度：38
施設個別計画の方向性
⇒健全度低、立地が危険箇所
今後のあり方を検討

「閉鎖：危険箇所・健全度低」

・西岬小学校の閉鎖により、公民館以外
利用できる施設がなくなる。
地域の拠点は必要であり、長期的な視点
から、現在地に、複合的な機能をもった
施設を新設する方が現実的か。

ブロックSE



○豊房公民館 利用567件 14サークル
昭和49年建築 稼働率19.0% 町25回
経過50年(法定耐用年数24年)
健全度：50
施設個別計画の方向性
⇒学校再編に併せて機能移転

「地元で自主運営」

※令和9年度～空き校舎



指定緊急避難場所兼指定避難所

○豊房小学校

昭和56年建築
経過44年(法定耐用年数47年)
耐震：平成27年耐震改修

「複合施設として、部分的に公民館利用」

- ・令和7～8年度「教育支援センター」マザーズホームなどの機能移転
- ・「学びの多様化学校」の設置検討
- ・複合施設の一部として移転
— 館山市小中学校再編計画より—



指定緊急避難場所兼指定避難所

○神余野小学校

平成14年建築
経過23年(法定耐用年数22年)
耐震：新基準

「小規模特認校分校として条件付き存置」

条件を満たさなければ10年度に房南本校に統合

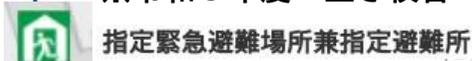
ブロックE



○館野公民館 利用583件 14サークル
 昭和51年建築 稼働率19.5% 町13回
 経過48年(法定耐用年数24年)
 健全度：47
 施設個別計画の方向性
 ⇒学校再編に併せて機能移転

「地元で自主運営」

ブロックH



※令和9年度～空き校舎

○館野小学校
 昭和54年建築
 経過46年(法定耐用年数47年)
 耐震：平成25年耐震改修

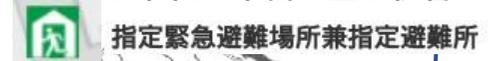
ブロックE



「地元で自主運営」

○九重公民館 利用860件 6サークル
 昭和50年建築 稼働率28.8% 町16回
 経過50年(法定耐用年数24年)
 健全度：53
 施設個別計画の方向性
 ⇒学校再編に併せて機能移転

※令和9年度～空き校舎



○九重小学校
 昭和56年建築
 経過44年(法定耐用年数47年)
 耐震：平成27年耐震改修

「複合施設として、部分的に公民館利用」

- ・館野小はブロックHとかぶっている。中央公民館も近い。
- ・隣接で九重こども園もあり、複合施設としてよりふさわしい。
- ・エリアの中央に位置する。